

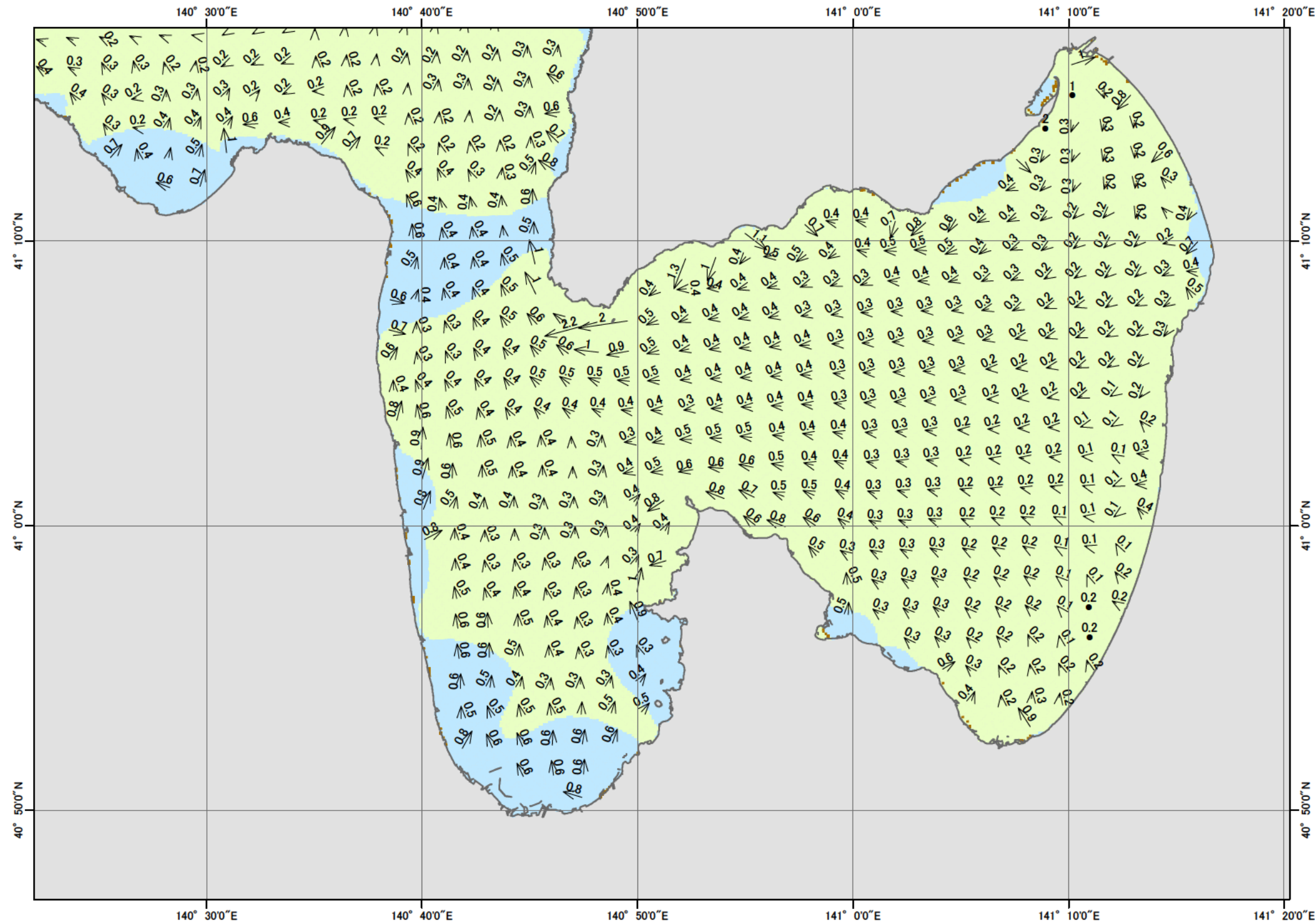
(三陸沖北部地震)

陸奥湾 津波防災情報図 (引潮図)



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)
 隆起量： 平均 -0.14m (-0.27m ~ -0.05m)
 Zo： 0.37m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



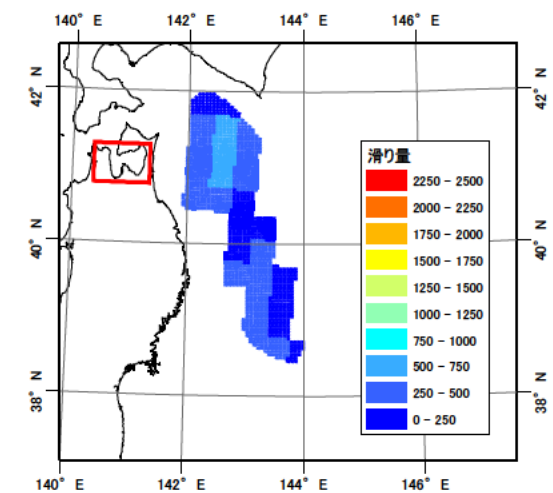
凡例

- 最大水位低下
- 0.5~最大1.4m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域

- 引潮時最大流 [knot]
- 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断層モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ

